

「第13回薬物乱用防止キャンペーン」を 実施します

麻薬・覚せい剤・危険ドラッグなどの薬物乱用による事故や事件は後を絶たず、大きな社会問題となっています。「ダメ。ゼッタイ。」を合言葉に、本キャンペーンを通じて若い世代だけでなく、幅広い世代に薬物の恐ろしさや薬物乱用の危険性を伝えていきます。

1 日時

令和7年1月19日(日)11時～17時

2 場所

イオンモール岡山1F未来スクエア(北区下石井一丁目)

3 内容

危険ドラッグ・違法薬物の危険性・有害性を知ってもらうために、パネル展示、お薬相談、ぬり絵コーナー・ガラポン抽選会などを行います。また、11時30分～12時の間には、お薬クイズを行います。さらに、今回は、岡山中央警察署のご協力のもと、ミニ白バイを展示します。



4 その他

・令和7年1月18日(土)11時～翌19日(日)16時まで、JR岡山駅エキチカひろばにて、パネル展も開催しています。

・詳細については、別添チラシ又はホームページをご参照ください。

・岡山市ホームページ

<https://www.city.okayama.jp/kurashi/0000033902.html>



【問い合わせ先】

岡山市保健管理課 三瀬・木下 直通086-803-1276 内線5765・5766・5767

薬物乱用は『ダメ。ゼッタイ。』



NO DRUG KNOW DRUG

社会貢献事業



薬物乱用防止キャンペーン

～一度だってダメ。ゼッタイ。～ 誘惑に負けるな! 勇気と知識で、NoDrug!

第13回

イベント開催日 2025. 1/19 (日) 11:00～17:00

会場 イオンモール岡山 1F 未来スクエア

トライフープ限定グッズが当たる!!



2013年に(株)TRYHOOPを設立し、14年にはバスケットスクールと中四国初のフルコートのバスケット専用施設をオープン。さらに15年からは3x3.EXE PREMIERに参入と、年々活動の幅を広げてきたトライフープ岡山。そして19年からは5人制の国内最高峰のプロリーグ・Bリーグに参入。岡山市、津山市をホームタウンに県内で20試合以上のホームゲームを実施し、バスケット特有のエンターテインメントを岡山で展開する。3人制、5人制を通して、「年中バスケットに触れられる街」を目指して活動を続けている。

NO DRUG, KNOW DRUG



「市内52のデジタルサイネージ(there'nachiTV)により、イベント内容を生中継!」



2025.1/18 までFM岡山にて
薬物乱用防止「啓発メッセージ」を ON AIR!

FM 76.8 MHz



(公財) 麻薬覚せい剤乱用防止センター
マスコットキャラクター「ダメ。ゼッタイ。」君

フースイベント

- 岡山市薬剤師会
パネル展示・お薬相談
ぬり絵コーナー・ガラポン抽選
- 岡山市 パネル展示
- 岡山中央警察署
パネル展示・警察官制服着用体験
ミニ白バイ展示



岡山市長 大森 雅夫
トライフープ岡山 濱田真流馬 選手
トライフープ岡山 岡田 陸人 選手
トライフープ岡山 高島 佳介 選手
FM岡山 DJ 牛嶋 俊明

主催 / 岡山市薬剤師会 岡山市 76.8 OKAYAMA FM Broadcasting Co., Ltd.

特別協賛 / (株) TRYHOOP



後援 / 岡山市教育委員会、岡山県、岡山県教育委員会、岡山県警察本部、(一社)岡山県薬剤師会、(一社)岡山市医師会、(一社)岡山市歯科医師会、(公社)岡山県看護協会、中国四国厚生局、広島出入国在留管理局、岡山出張所、神戸税関、岡山空港税関支署、神戸税関 水島税関支署宇野出張所、覚醒剤等薬物乱用防止指導員 岡山地区協議会、岡山県保護司会連合会、岡山市内医師会連合会、岡山市PTA協議会、岡山県高等学校PTA連合会、岡山県病院薬剤師会、岡山県学校薬剤師会、(一社)岡山県医薬品登録販売者協会、岡山県薬業振興会、岡山県薬業協会、岡山県医薬品卸業協会、岡山県医薬品配済協議会、(公財)岡山県薬業会館(順不同)

協賛 / 岡山大学、就実大学



※ODに至る過程は様々です。このストーリーは一例です。

しかし、回復できます! あきらめないで!

依存症かもしれないあなたへ

味方を見つけよう!

自分から助けを求めるのはとても苦手だよ
でも、1人で抱え込まずに信頼できる人、安心できる人に話してください

- ⚠️ 安心できない人
 - 上から自慢で話す人
 - 頭ごなしに否定したり、根性論を振りかざす人
- 😊 安心できる人
 - 白黒つけたり決めつけたりしない人
 - いつもと変わらない態度で話を聞いてくれる人

👉 おすすめ

- スクールカウンセラー
- 養護教諭

誰に話すべきが重要!

友達が依存症かもしれないあなたへ

友達の一声は大きい!

「何か困っていることない?」と声をかけてあげて
「友達として心配なんだ」とあなた自身の気持ちを伝えて

- ⚠️ 注意してしまおう
 - 「どうしてそんなことしたの?」と責めたり、「そんなことしちゃダメだ」と否定しない
- 😊 安心できる
 - 「そうなんだー、正直に話してくれて、ありがとう」といってあげたら、ほっとする

👉 スクールカウンセラーさんへの相談と一緒にやってあげると心強いよ

👉 声かけのポイント これまで通り、何があっても変わらぬ態度でいてくれる友達は大変な支えになる

子どもが依存症かもしれない保護者の方へ

落ち着いて、冷静に判断してください
あなた自身が孤立しないことです

- ⚠️ やってはいけないこと
 - 不安をお子さんにぶつけてしまう
 - 薬を使っていないか24時間監視する
 - 命の尊さを説く
 - 過剰に甘やかしたり、お小遣いやモノで釣る
- 😊 信頼できる人につながると少し安心できる
 - どんな言葉をかければいいのか、どんな対応をしてはいけないのかわかる
 - 回復支援の情報や治療へ踏み出すきっかけが得られる

メンタルヘルスの専門家に繋がってください

生徒が依存症かもしれない先生へ

先生は教育のプロですが、メンタルヘルスのプロではありません

- 👉 望ましい対応
 - 背景に困った事情があるのではないかと考えて、じっくり耳を傾ける
 - 時間を共有し、共に悩むことがかけがえのない支援になる
 - 問題を抱え込まずチームでサポート
 - 保健機関(精神保健福祉センター)に相談*

👉 専門家との連携を!

- ⚠️ やってはいけないこと
 - 「甘えていないで、もっとがんばれ」と根性論を振りかざす
 - 「いいけた考え方のせいだ」と決めつける

否定せず、ジャッジせず、叱責せず、ただ聞いてあげてください!

※困ったときの相談先
 スクールカウンセラー 保健所
 全国の精神保健福祉センター

監修: 熊本大学(国立精神・神経医療研究センター) 厚生労働省
 企画・制作: くすりの適正使用協議会 日本大学薬学部薬師教育センター
 公刊財団法人日本便用アルダミー 2023年度健康増進・教育に係る公募助成の支援を受けています

くすりは正しく使ってこそくすり。正しい使い方をしてはじめて「くすりはあなたの健康を支えるパートナー」になります。